

花火点火手順書

H26.2 月改訂版

①「小さめの連発花火」や「おまけ花火」で盛り上げます。

連発花火で花火気運を少しずつ高めましょう！おまけの花火は、ここで使用します。（小さめをお入れしていることが多いです。）また連発花火は、半分残して③の始めに使用してください。*おまけ花火は、打上、連発、噴水などを想定しています

②「噴水(ドラゴン)花火」で嗜好を代え、壮大に堪能

できるだけ、連続ですばやく点火しましょう。①の連発と同時、または少し重ねてしてもOKです！噴水花火が少ない場合は、開始時に使用してもOKです。

③「単発の打上げ花火」で、日本の美を楽しみながら趣に浸ります。

点火は急ぐ必要はありません。「間」も大事です！最後は、大きめの花火で一本締めといきましょう。始めや合間に①で残しておいた連発花火を入れましょう。

④「ナイアガラ」で雄大にフィナーレ♪

最後に皆でみると感動です。一斉に点火するのが良いです。滝を楽しむため、やや高め（2～4mの高さ）に設置しましょう。数量にもよりますが、4～5人で一斉に点火しましょう。

- * 手持ち花火がある場合は、花火大会開催前にしてもよいですし、大会終了後、皆で大きな輪になってするのもいいです。大会中は、しない方がよいと思います。線香花火があれば、最後の最後にしみじみとやるのも良いですよ。
- * 風下で設置・点火しましょう。風上に観客を置いてください。煙が観客に流れません。
- * 花火の使用順序は一例です。あなたのイベントにあったやり方が、一番ベストです！
- * 点火は、火力が強いスパーク花火（手持ち花火）をおすすめします。
- * 風に強い太めの線香もよいですが、チャッカマンのような柄が長いライターも重宝します。普通のライターやマッチは危険です。
- * 花火は、横転防止のため、必ず、地面や板にガムテープや石などで固定してください。

当店花火が、皆様に感動的なイベントを創出できたら幸いです！